

2020年12月20日（日）待降節第4主日

## 銀座教会 クリスマス家庭礼拝

礼拝招詞 「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。

独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。」

ヨハネによる福音書3章16節

### 主の祈り

天にまします我らの父よ、願わくはみ名を崇めさせたまえ。

み国を来らせたまえ。みこころの天になるごとく地にもなさせたまえ。

我らの日用の糧を今日も与えたまえ。

我らに罪を犯す者を我らが赦すごとく、我らの罪をも赦したまえ。

我らを試みにあわせず、悪より救い出したまえ。

国と力と栄とは限りなく汝のものなればなり。

アーメン

### 日本基督教団信仰告白

讚美歌 98番 あめにはさかえ み神にあれや

### 聖書 ルカによる福音書2章1～7節

1 そのころ、皇帝アウグストゥスから全領土の住民に、登録をせよとの勅令が出た。2 これは、キリニウスがシリア州の総督であったときに行われた最初の住民登録である。3 人々は皆、登録するためにおのおの自分の町へ旅立った。4 ヨセフもダビデの家に属し、その血筋であったので、ガリラヤの町ナザレから、ユダヤのベツレヘムというダビデの町へ上って行った。5 身ごもっていた、いいなずけのマリアと一緒に登録するためである。6 ところが、彼らがベツレヘムにいるうちに、マリアは月が満ちて、7 初めての子を産み、布にくるんで飼い葉桶に寝かせた。宿屋には彼らの泊まる場所がなかったからである。

### 牧会祈禱

天の父なる神さま。主の年2020年クリスマス礼拝をお捧げいたします。あなたに祈られ、御言葉によってここまで導かれたことを振り返り、主の御名をたたえます。モーセの時代、エジプトの奴隷であった神の民が解放され荒野を旅したとき、神に対して不平不満をぶつけた民と同じように振る舞っていたことを御前に懺悔いたします。あなたの力強いみ腕に抱かれていたことを感じることもなく、自らの力だけで歩いているかのように思い上がっていたことを懺悔いたします。今日、御前に立つ時を与えられ、御赦しがなければ生きることの出来ない者であることをわきまえさせてください。家庭において、耐えている愛する兄弟姉妹を覚えます。病院や施設にて家族との交わりが困難な兄弟姉妹を覚えます。主の憐れみを祈り続けさせてください。感

染者はじめ命を支えるために働く医療従事者はじめ働き手を守り、平安と平和をお与えください。救い主を迎えるクリスマスを感謝いたします。主の光によって全ての闇を照らしてください。主イエス・キリストの御名によって祈ります。 アーメン

## 説教 「飼葉桶の主イエス」

牧師 高橋 潤

本日、この礼拝堂に集まった方々、オンラインで礼拝を守っている方々、そして「家庭礼拝のしおり」で礼拝をお捧げしている皆様とご一緒にクリスマス礼拝をささげます。

今年は、教会学校のクリスマス聖誕劇は、教会学校教師が工夫して録画を編集して映像をまとめ上げてくださいました。青年たちも音楽によるクリスマス礼拝を12月第1主日より映像で発信しています。12月24日、毎年恒例の燭火礼拝は中止しましたが、当日は正午礼拝と午後6時から聖書講義を行います。

銀座教会で最も大きい集団である婦人会は、会員全員へ手作りのクリスマスカードをおくって、心をつなげる努力を進めています。教会全体でコロナ禍、集まりにくいからこそ、工夫して隣人愛の実践に努めています。コロナ禍によって、礼拝に来ようとしても来られない方々へ目を向けるようになりました。礼拝堂に来ることの出来る人々だけの教会ではなく、銀座まで来れない方々を覚え、祈り、工夫する教会への訓練期間を与えられたと受け止めています。コロナ禍での礼拝は、分散しつつ、お一人お一人が自分を愛するようにあなたの隣人を愛する訓練の日々です。また、一人で守る家庭礼拝者からは、礼拝堂において礼拝前後のことを何も考えずに礼拝に集中出来るという積極的な声も届いています。また、教会へ誘うことが難しくても家族と共に映像で礼拝の様子を紹介出来ることや御言葉に集中することが出来たという感謝の声も届いています。礼拝を聴くことと読むことが同時に与えられて、確認することも出来るということも聞きます。コロナ終息とコロナ禍を祈りつつ生きる私たちは、新しい教会の交わりと新しい信仰を与えられ、クリスマスを祈りの中で迎えています。

ルカによる福音書は、キリニウスがシリアの総督だったとき皇帝アウグストゥスから勅令が出たと語ります。紀元前29年、アウグストゥスは100年にも亘るローマの領土を荒らしていた市民戦争を終結させました。アウグストゥスの時代は、平和の黄金時代として宣伝されました。紀元前13年から9年には、アウグストゥスに由来する平和のための祭壇や祈念碑が立てられました。小アジアのギリシャの町々は、皇帝の誕生日である9月23日を元旦としました。「神の誕生日は世界に良き訪れのはじまりを印した」とプルエリ碑文に刻み、宣言させました。しかし、ルカによる福音書は、このような状況をよく知りつつ、皇帝の平和宣言に応答するように、アウグストゥスの勅令は、イエス・キリストの誕生を指し示していると語っているのです。ルカによる福音書は、皇帝の平和宣言に耳を貸すことなく、主イエスこそキリストであると語っているのです。天の歌声は、皇帝による平和ではなく、キリストの平和を宣言しているのです。

人口調査を目的とした住民登録は、ユダヤの歴史において、不幸のはじまりを思い起こ

す出来事として記憶されていました。サムエル記下24章でダビデ王が人口調査を命じたために神の激しい怒りを買うことになりました。キリニウスの人口調査は熱心党によるユダの革命の発端となりました。しかし、ルカはクリスマスの人口調査は、ローマ皇帝を見上げておびえる出来事ではなく、神の民が待望している神の子が生まれる喜びの宣言であると伝えているのです。

更には、ルカによる福音書は、私たちの身も心も真の救い主に向けさせるために「飼い葉桶」に目を向けさせます。それが6-7節です。皇帝を礼拝するのではなく、飼い葉桶の主を礼拝することを指し示します。天使たちは、羊飼いたちにも飼い葉桶の救い主を指し示します。この飼い葉桶は、貧しさの印ではありません。貧しさの印であれば、飼い葉桶でなくても良いのです。飼い葉桶が指し示す積極的な意味があるのです。それは、預言者イザヤの嘆きに対する神の答えです。この地上に神が救い主を遣わした御心が、飼い葉桶に寝ている主イエスによって伝えられているという指摘です。私たちにとって飼い葉桶はクリスマスの主イエスなのです。イザヤ書1章2-3節

**2** 天よ聞け、地よ耳を傾けよ、主が語られる。わたしは子らを育てて大きくした。しかし、彼らはわたしに背いた。**3** 牛は飼い主を知り／ろばは主人の飼い葉桶を知っている。しかし、イスラエルは知らず／わたしの民は見分けない。

ルカは預言者イザヤの苦言を思い起こして、飼い葉桶の主イエスを見つめます。イザヤは牛でさえも真の飼い主を知っているのではないか。ロバでさえも自分の主人が与える飼い葉桶を知っているのではないか。なぜ、イスラエルの民は自分の主人を見分けることが出来ないのかと嘆きました。しかし、ルカはイザヤの嘆きに終止符を打つ出来事を見たのです。今こそ、私たちは私たちの飼い葉桶によって私たちの主人が誰であるかを知る者になった。私たちの身も心も養う飼い葉桶は主イエスなのだとの喜びの宣言をしているのです。私たちはこのキリストの言葉によって養われる群れなのだということです。この飼い葉桶の主イエスによって、いのちの言葉を与えられて生きるのだと宣言しているのです。

主イエスが誕生したことで物語は終わるのではありません。飼い葉桶の主イエスを通して、ここから神の御心を聞く者にされた恵みを味わっているのです。神が語る言葉によって養われていくという救いの道のはじまりを宣言しているのがルカのクリスマスです。神の民は、真の主人の飼い葉桶を与えられました、という宣言なのです。だから、喜びがあるのです。だから声高らかに天使が喜び賛美するのです。

クリスマスに読みたい聖書の言葉があります。それは、主イエス・キリストが伝道開始直前、荒れ野で悪魔の誘惑を受けた第1の誘惑の御言葉です。マタイによる福音書4:1-4「**1** さて、イエスは悪魔から誘惑を受けるため、“霊”に導かれて荒れ野に行かれた。**2** そして四十日間、昼も夜も断食した後、空腹を覚えられた。**3** すると、誘惑する者が来て、イエスに言った。「神の子なら、これらの石がパンになるように命じたらどうだ。」**4** イエスはお答えになった。「『人はパンだけで生きるものではない。神の口から出る一つ一つの言葉で生きる』／と書いてある。』」

主イエスは、40日間断食し、空腹の時、悪魔の誘惑に遭います。悪魔の命令に従って神の力を自分自身の腹を満たすために用いて、自分が神である事を宣言したら良いではないかという誘惑です。悪魔は、主イエスに対して神の力を隣人のためではなく自分自身のために使うことで、神である宣言が同時に出来るではないかと巧みに誘導しています。

しかし、主イエスは、悪魔の誘惑を退けました。「人はパンだけで生きるものではない。神の口から出る一つ一つの言葉で生きる」と語りました。主イエスは、私たちの先頭に立って悪魔の巧みな誘惑を受けてくださいました。私たちが悪魔と一緒にあって、主イエスに対して石をパンにしると命じる誘惑から救い出すためなのです。

「人はパンだけで生きるものではない。神の口から出る一つ一つの言葉で生きる」という言葉は、旧約聖書の申命記第8章3節の引用です。エジプトを出たイスラエルの民の四十年間の荒れ野の旅で神は彼らを、天からのパン、マナによって養い、支えて下さいました。神はこの世のパンを求めてはならないと否定しているのではなく、彼らに必要なパンを与え、養って下さったのです。主イエスは、神はあなたがたにこの世のパンをお与え下さる、しかし、この世のパン以上に大切な命のパンを与えてくださることを教え示したのです。クリスマスは、御子イエス・キリストが命のパンとして遣わされ、私たちに救う神の計画が開始されたのです。命のパンは、聖餐においていただく、主イエスの命です。

本日は、先週に続き主日礼拝と主日第2礼拝において洗礼式が執り行われます。また、転入会式に立つ方々があります。この方々は、真の命を与える主人からいのちの言葉をいただいて生きる者とされたのです。もう、自分の主人は誰なのか迷いません。迷う必要も無いのです。誰の声に聞けば良いのか迷わなくて良いのです。牛や羊が主人の声を聞き分けるように、いやそれ以上に神の声を聞き分けることが出来る飼葉桶を与えられたのです。私たちは聖書の言葉を命の言葉として与えられ、御言葉に聴いて生きる者とされているのです。ここに全き平安があります。私たちが最も安心して生きる道があるのです。

クリスマスによって与えられた主イエスの飼葉桶から与えられる御言葉によって生きる事は、私たちの信仰と希望と愛を育みます。キリストの恵みによって洗礼を受け、十字架の主イエスに赦され愛されている私たちは、ここから聖化の道が始まるのです。御言葉に聞き続ける道です。祈り続ける道です。神に対して大胆に従っていく道をご一緒に歩みましょう。私たちが礼拝生活を大切にすることも祈禱会を大切にすることも、聖霊なる神さまが御言葉によって養い成長させてくださる恵みなのです。祈りましょう。

#### 祈 禱(各自、自由にお祈りください)

祈禱課題 ウイルスの脅威の中にあって平和と平安をお与えください

洗礼、入会の準備中の兄弟姉妹の上に信仰の確信を与えてください

教会学校、サムエル会の子どもたちのために主の恵みを祈りましょう

医療従事者の健康と使命が主の守りにありますように

讃美歌 115番 ああベツレヘムよ

献 金

頌 栄 544

祝 禱

主があなたを祝福し、あなたを守られるように。

主が御顔を向けてあなたを照らし あなたに恵みを与えられるように。

主が御顔をあなたに向けて あなたに平安を賜るように。

主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、

あなたがた一同と共にあるように。

アーメン